

H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	株式会社エムティシー
ソフトウェア名	トンネル設計補助システム APL Win
適用分野	山岳トンネル（NATM工法）設計
適用フェーズ	詳細設計

国交省			株式会社エムティシー
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	未対応
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	対象外（トンネル設計専用の自動設計システムのため）
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。（H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）	土木モデルビュー定義に準拠して、IFCファイル出力が可能。また、IFCプロパティセットを用いて、トンネル内空断面寸法、支保パターン等の属性を付与可能
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	対象外（トンネル工の数量はユニット方式であるため）
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	対象外（計測機能等、汎用CAD機能を持たないため）
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	施工計画検討の動画等に利用できるよう、施工ステップに則り、支保パターン別、工程別毎に分割したソリッドモデルを I F C ファイルに出力可能。
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立を探る。	特になし